

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 富士機械製造株式会社

上場取引所 名

コード番号 6134 URL <http://www.fuji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務本部本部長 (氏名) 加藤 正樹

TEL 0566-81-2111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	25,847	△59.9	△6,653	—	△6,356	—	△6,802	—
21年3月期第3四半期	64,455	—	9,145	—	9,834	—	2,473	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△139.15	—
21年3月期第3四半期	50.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	115,816	90,971	78.5	1,860.96
21年3月期	123,657	97,161	78.6	1,987.55

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 90,971百万円 21年3月期 97,161百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△42.4	△7,200	—	△7,000	—	△7,500	—	△153.42

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 48,911,874株 21年3月期 48,911,874株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 27,896株 21年3月期 26,793株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 48,884,473株 21年3月期第3四半期 48,886,918株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年11月10日に公表いたしました通期の連結業績予想は、本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく変動する可能性があります。業績予想の前提及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	37,000	△41.4	△6,600	—	△6,400	—	△6,700	—	△137.06

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出に若干の明るさが見られるものの、個人消費や設備投資の低迷により依然として厳しい状況で推移いたしました。また、世界経済におきましては、アジアでは中国を中心に大型景気対策等による民間の投資・消費意欲の向上等、持ち直しの動きが広がっている一方、欧米諸国では景気の下げ止まりが見られるものの、雇用情勢等の下振れリスクもあり、引き続き深刻な状況にあります。

このような環境のなかで、当グループは、新たなるチャレンジ精神のもと、次世代技術の探求や、価格競争力のある差別化製品の遅滞なき開発を推進してまいりました。また、国内外の販売網やサービス網の強化により、顧客満足度の向上ならびにマーケットシェアの拡大を図り、生産量の急激な変動に対応できる生産体制の構築に努め、更なる経費削減等に取組んでまいりましたが、当第3四半期連結累計期間は誠に遺憾ながら減収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、前第3四半期連結累計期間と比較し、38,607百万円(59.9%)減の25,847百万円となりました。また、損益につきましては、前第3四半期連結累計期間と比較し、営業損益は6,653百万円の損失(前年同四半期:営業利益9,145百万円)、経常損益は6,356百万円の損失(前年同四半期:経常利益9,834百万円)、四半期純損益は6,802百万円の損失(前年同四半期:四半期純利益2,473百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) 電子部品組立機事業

携帯電話・ノート型パソコン・薄型テレビ等のエレクトロニクス市場を取巻く環境は持ち直しつつあるものの、主要顧客である大手携帯電話メーカー・大手EMS(電子機器受託生産企業)等の設備投資が低調に推移したことにより、前第3四半期連結累計期間と比較し、売上高は29,656百万円(55.4%)減の23,846百万円、営業損益は2,623百万円の損失(前年同四半期:営業利益12,340百万円)となりました。

2) 工作機械事業

工作機械業界全体として国内外の需要が低迷するなか、当グループの主要顧客である自動車業界の設備投資への抑制が長期化している影響により、前第3四半期連結累計期間と比較し、売上高は8,737百万円(84.0%)減の1,665百万円、営業損益は2,159百万円の損失(前年同四半期:営業損失1,659百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態につきましては、連結総資産合計は、たな卸資産の減少等により前連結会計年度末と比較し7,841百万円減の115,816百万円となりました。また、連結負債合計は、長期借入金の返済等により前連結会計年度末と比較し1,651百万円減の24,845百万円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加が投資活動によるキャッシュ・フローと財務活動によるキャッシュ・フローの減少の合計を上まわり、前連結会計年度末と比較して6,100百万円増の54,662百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、11,498百万円の収入(前年同四半期:5,906百万円の収入)となりました。これは主に、たな卸資産の減少、法人税等の還付等のプラス要因が、税金等調整前四半期純損失等のマイナス要因を上まわったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,446百万円の支出(前年同四半期:4,279百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,447百万円の支出(前年同四半期:2,378百万円の収入)となりました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当グループを取巻く経営環境は、世界的規模の景気低迷及び設備投資の抑制により厳しい状況で推移しております。このような環境下、電子部品組立機事業の受注環境が年明けから好転し、業績が前回予想を上まわる見込みとなりましたので、平成21年11月10日に公表いたしました通期の業績予想値を下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	△9,500	△9,500	△10,000	△204.56
今回発表予想(B)	40,000	△7,200	△7,000	△7,500	△153.42
増減額(B-A)	8,000	2,300	2,500	2,500	—
増減率(%)	25.0	—	—	—	—
前期実績	69,485	5,229	6,118	1,001	20.49

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められますので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,442	42,171
受取手形及び売掛金	8,291	7,377
有価証券	5,000	7,300
商品及び製品	3,012	3,706
仕掛品	3,708	7,736
原材料及び貯蔵品	11,546	18,101
その他のたな卸資産	40	49
その他	1,306	6,468
貸倒引当金	△76	△80
流動資産合計	83,272	92,831
固定資産		
有形固定資産	16,999	18,181
無形固定資産	2,726	2,128
投資その他の資産		
投資有価証券	11,288	8,890
その他	1,528	1,626
投資その他の資産合計	12,817	10,516
固定資産合計	32,543	30,826
資産合計	115,816	123,657
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,151	592
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,500	3,000
未払法人税等	102	58
製品保証引当金	890	1,504
その他	3,432	4,788
流動負債合計	12,077	9,943
固定負債		
社債	10,000	15,000
退職給付引当金	2,767	1,552
固定負債合計	12,767	16,552
負債合計	24,845	26,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,413	5,413
利益剰余金	80,698	88,478
自己株式	△42	△41
株主資本合計	91,947	99,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134	△2,196
為替換算調整勘定	△1,111	△371
評価・換算差額等合計	△976	△2,567
純資産合計	90,971	97,161
負債純資産合計	115,816	123,657

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	64,455	25,847
売上原価	42,247	22,497
売上総利益	22,208	3,349
販売費及び一般管理費	13,062	10,003
営業利益又は営業損失(△)	9,145	△6,653
営業外収益		
受取利息	299	193
受取配当金	231	198
受取賃貸料	229	—
為替差益	164	—
法人税等還付加算金	—	102
雑収入	86	115
営業外収益合計	1,012	609
営業外費用		
支払利息	113	162
社債発行費	143	—
支払手数料	59	33
為替差損	—	99
雑支出	6	16
営業外費用合計	323	312
経常利益又は経常損失(△)	9,834	△6,356
特別利益		
固定資産処分益	43	54
投資有価証券売却益	—	21
投資有価証券償還益	—	8
その他	—	4
特別利益合計	43	89
特別損失		
固定資産処分損	277	60
減損損失	—	269
投資有価証券評価損	1,856	47
その他	4	—
特別損失合計	2,137	377
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,739	△6,645
法人税、住民税及び事業税	2,881	57
法人税等調整額	2,385	99
法人税等合計	5,266	157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,473	△6,802

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,739	△6,645
減価償却費	1,909	1,801
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,092	1,215
受取利息及び受取配当金	△530	△391
支払利息	113	162
固定資産処分損益(△は益)	233	5
投資有価証券評価損益(△は益)	1,856	47
売上債権の増減額(△は増加)	10,749	△990
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,449	11,145
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,537	606
未収消費税等の増減額(△は増加)	256	1,210
その他	△1,896	△259
小計	15,537	7,908
利息及び配当金の受取額	530	391
利息の支払額	△116	△192
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△10,045	3,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,906	11,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,370	△2,666
有形及び無形固定資産の売却による収入	77	230
投資有価証券の取得による支出	△772	△241
定期預金の預入による支出	△317	△332
定期預金の払戻による収入	146	461
その他	△42	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,279	△2,446
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,581	△1,500
社債の発行による収入	6,855	—
配当金の支払額	△1,891	△946
その他	△4	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,378	△2,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,136	△503
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,869	6,100
現金及び現金同等物の期首残高	43,256	48,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,126	54,662

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	電子部品 組立機事業 (百万円)	工作機械事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	53,502	10,402	549	64,455	—	64,455
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	1,154	1,154	(1,154)	—
計	53,503	10,402	1,704	65,610	(1,154)	64,455
営業利益又は営業損失(△)	12,340	△1,659	121	10,802	(1,656)	9,145

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	電子部品 組立機事業 (百万円)	工作機械事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	23,846	1,665	336	25,847	—	25,847
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	171	171	(171)	—
計	23,846	1,665	507	26,018	(171)	25,847
営業損失(△)	△2,623	△2,159	△158	△4,941	(1,712)	△6,653

(注) 1 事業区分は、製品の種類・性質によっております。

2 各事業の主な製品

- | | |
|---------------|------------------------|
| (1) 電子部品組立機事業 | 電子部品自動装着機 |
| (2) 工作機械事業 | 自動旋盤、専用機 |
| (3) その他の事業 | 制御機器、電子基板受託生産、ソフトウェア開発 |

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	48,911	10,367	5,099	76	64,455	—	64,455
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,691	19	35	101	10,848	(10,848)	—
計	59,602	10,386	5,135	178	75,303	(10,848)	64,455
営業利益	9,572	97	627	3	10,300	(1,154)	9,145

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,846	4,455	1,443	101	25,847	—	25,847
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,995	0	46	146	4,189	(4,189)	—
計	23,841	4,455	1,489	248	30,036	(4,189)	25,847
営業利益又は営業損失(△)	△4,981	△197	76	51	△5,051	(1,602)	△6,653

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ：アメリカ

(2) ヨーロッパ：ドイツ

(3) アジア：中国

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	11,251	9,085	28,058	2,436	50,832
II 連結売上高(百万円)					64,455
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.5	14.1	43.5	3.8	78.9

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,312	1,800	16,368	1,168	23,649
II 連結売上高(百万円)					25,847
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.7	7.0	63.3	4.5	91.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ：アメリカ・メキシコ等

(2) ヨーロッパ：ドイツ・ポーランド等

(3) アジア：中国・ベトナム等

(4) その他の地域：ブラジル等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

区分	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	44,364	87.1	53,502	83.0	2,071	37.7
工作機械	5,914	11.6	10,402	16.1	3,254	59.2
その他	638	1.3	549	0.9	168	3.1
合計	50,917	100.0	64,455	100.0	5,494	100.0

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

区分	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	26,767	92.7	23,846	92.3	4,019	69.8
工作機械	1,717	6.0	1,665	6.4	1,631	28.3
その他	385	1.3	336	1.3	111	1.9
合計	28,870	100.0	25,847	100.0	5,762	100.0

前連結会計年度（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

区分	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	46,284	87.0	56,397	81.1	1,097	40.1
工作機械	6,181	11.6	12,344	17.8	1,579	57.6
その他	726	1.4	744	1.1	61	2.3
合計	53,192	100.0	69,485	100.0	2,738	100.0